

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	さかいプレ保育士事業				事業番号	014-111	
担当部署名	こども青少年局	局	子育て支援部	部	幼保運営課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(1)妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実
			有	取組の方向性	②多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			有	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—

2	関連計画	堺市こども計画		
3	事業開始年度	平成 29 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠			

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	・【高校生】高等学校（全日制・定時制・通信制）に在籍する生徒（学年不問） ・【学生】指定保育士養成施設に在籍する学生（学年不問） ・【一般】市内の民間保育施設等での就職を希望する者（資格不問）				対象数	単位
7	事業の目的	指定保育士養成施設に在籍する学生及び潜在保育士等を対象に、市内の認定こども園等において現場体験ができる機会を提供することで、教育・保育現場での就労に対する不安の軽減を図り、勤労意欲の向上を後押しし、就職に向けた支援等を行うことにより、保育士等の人材確保につなげることを目的とする。					
8	事業内容	【受け入れ先】 ・市内の認定こども園等 【実施期間】 ・令和8年5月～令和9年2月末 【実施内容】 ・ボランティアとして、市内の民間教育・保育施設等で保育を体験する。 ・1回あたり半日（2～3時間）程度、1～2回程度実施 【その他】 ・事業対象の一般の参加者については、「堺市保育士等就職支援コーディネート事業」（無料職業紹介事業）へ登録し、就職に向けた支援を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先	プレ保育士事業の参加者					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	有資格の参加者のうち、就職に至った者の数	人	目標値	3	3	3	3
			実績値	2	3		
			達成率	67%	100%		
当該指標を選定した理由	就職に向けた支援を行った参加者が市内の認定こども園等に就職することは、保育士等の人材確保につながると考えられるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	過去の参加者の実績値をもとに算出						

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	参加者数	人	目標値	26	26	26	
			実績値	8	15		
			達成率	31%	58%		
当該指標を選定した理由	目的を達成するためには、事業に参加してもらうことが必要であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	過去の実績値及び事業周知先（指定保育士養成校）数をもとに算出						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	さかいプレ保育士事業	事業番号	014-111
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	52	337	543	329	938
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	1,980	2,000	2,060	2,060	2,130
	年間経費（c）=(a)+(b)	2,032	2,337	2,603	2,389	3,068

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	さかいプレ保育士謝礼金	決算	12	12		決算				
		予算	100	100		予算				
	その他	決算	317	317		決算				
		予算	838	838		予算				
		決算				決算				
		予算				予算				
		決算				決算				
		予算				予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	参加者数	人	8	15
	②	上記①にかかる年間経費	千円	337	329
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	42,125	21,933
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和6年度からは参加対象者を学生にも広げた。事業を効果的に実施し、参加者に就労へ対する不安の軽減や、保育士の仕事を身近に感じてもらい、就労意欲の向上につなげることで保育人材の確保を推進する。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、実務研修や職場体験（ボランティア保育士）を行うことで、教育・保育現場での勤務に対する不安の軽減やスキルアップを図り、就労意欲の向上につなげ、就労支援を行うことで保育人材確保を推進するものであり、待機児童解消にも寄与している。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	保育士の有効求人倍率は全職種平均と比較しても高い水準となっている中、こども家庭庁でも保育人材の確保のための総合的な対策を打ち出している。配置基準の見直しやこども誰でも通園制度の制度化等に伴い、今後も保育士確保は大きな課題となっている。このような中、本事業では実際の保育現場を体験でき、参加者数は増加傾向にある。その後就職につながるケースも増やすことで、引き続き保育人材確保に向けた取組として有効と考える。
	有効性	■ 高い □ 低い	